

# 令和 6 年度 税務課の主な事業

一般会計

## 賦課事務事業

予算額 75,685 千円

目的

市民税、固定資産税、軽自動車税等の賦課事務を適正かつ効率的に遂行する。

主たる内容

各税目の課税客体に応じ、必要な情報を取得し、電算システムに当該情報を入力の上、賦課を決定し、納税通知書を送付する。

一般会計

## 賦課事務システム管理事業

予算額 96,992 千円

目的

電算システムの利用により、課税計算を迅速かつ正確に実行するとともに、税情報を適切に管理する。

主たる内容

電算システム機器を借り上げ、電算システムの保守管理を行う。

一般会計

## 賦課事務システム改修事業

予算額 165,830 千円

目的

軽自動車税納付確認システムにより、二輪の小型自動車の車検の際に必要な軽自動車税種別割の納付状況を運輸局で確認できるようにするとともに、災害時においても当該システムによる軽自動車税種別割納付状況の確認をできるようにする。  
基幹税システムの標準化・共通化に対応する。

主たる内容

- ・二輪の小型自動車に係る軽自動車税種別割納付情報の出力を可能とするため、総合税システムを改修する。
- ・軽自動車税納付確認システムのバックアップセンタへの連動試験支援の委託をする。
- ・標準準拠システムを導入する。